松代公民館新聞
発行所 松代公民館
編輯兼発行人 館長 佐藤秀雄
発行日 毎月3回（5日、15日、25日）

教育振興のスタート!!
松代小学校のPTA・組織さる

世の進展に伴って松代小学の父兄会後援会はPTAと組織替されたが 幾度、先生方の説明に準備会を重ね 去る十六日創立総会が松代小学校で開催された 滝西文化国家を建設しようと建設にも孫を子を連れて参集って参集した父兄というよりも母姉といった方が至言であろう

午前九時半開会 PTAとは何か、学校経営の今後はどうすべきか 現在の困憊やみその他について 本間校長先生の二時間余に亘る説明により満場異議なくPTAは組織された 次で学級PTAが引続いて学校PTAと組織は順序を追うことになった 各父兄母姉は夫々自分の子弟の教室に参集 担任先生の更に補足説明を受け 学級のPTAより更に夫々六名（一七名）の委員を挙げ更にその外より学校PTAへ選る代表委員の選衡を了した 創立発起人と学級代表委員との合同会議は開催された この時午后零時三十分であった 彼岸というのに珍しい吹雪 室内ですら零下に下った寒暖計には目もくれず 昼食時間も離し気の付く者もなかった この会は終日午前であったともいえるだろう 創立発起人と学級PTAの合同会議の結果 役職員は次の通りである

松代小学校PTA各職員と委員

顧問　本山種松・関谷政治　柳　輸欽
　　　宮澤正留

会長　柳　宗一郎

副会長　本間長三郎　関谷壽美子

幹事　佐野長平・山賀市三郎・相沢武雄
　　　柳　千代美

総務委員　委員長　柳　良雄
　　　副　〃　相澤浦一郎・高橋長平
　委員　柳　トイ・宇賀貞蔵・高橋長八郎
　　　関谷嘉蔵

厚生委員　委員長　飯田敏次郎
　　　副　〃　岩井　幹・関谷セン
　委員　後藤玄龍　相澤武郎　関谷ヨシ
　　　室岡貞蔵　市川久江　高橋一次
　　　市川ヨシ　万羽ケイ　鈴木テリ
　　　村山チエ　高橋ハル　万羽セイ
　　　柳　新次郎　関谷トリ　高木イク
　　　関谷テル

文化委員　委員長　佐藤秀雄
　　　副委員長　関谷幸一郎　関谷正蔵
　委員　関谷虎次　柳　千代美　関谷ケイ
　　　高野明二　柳　シズイ　鈴木芳平
　　　三浦芳野　万羽カツ子　本間ハル

経理委員　委員長　関谷政一郎
　　　副　〃　柳　利夫、鈴木登蔵
　委員　樋口仁太郎　島田タツイ　市川コト
　　　富沢恭松　関谷虎蔵　市川キソ
　　　市川ヒロ　関谷藤右衛門

世話人　樋口熊一　山賀市三郎　室岡貞蔵
　　　柳　信蔵　柳　善吉
　　　笠原益雄　柳　兼松　関谷新治
　　　関谷虎次　柳　福太郎　関谷政一郎

午前十一時にサイレンがなる

"サンマータイム"が四月三日から実施される
松代村ではこの四月三日からはサンマータイム
午前十一時にサイレンをならします

昭和二十四年度の新しい嘱託員の顔ぶれ

大字名	旧嘱託員	新任嘱託員	家名
松代	樋口 徳一	留任	嘱右エ門
小荒戸	笠原 又五郎	山賀 市三郎	古屋敷
太平	大熊 祐平	柳 善吉	エビス屋
菅刈	柳 辰己	留任	ソベイ
田沢	市川 常作	市川 竜平	将殿
小屋丸	市川 源作	市川 兆策	ハンバ
池之畑	市川 一郎	留任	オメイ
下山	宮澤 嘉治	宮澤 清	インキョ
千年	関谷 清衆	柳 勝蔵	アラタメ
池尻	室岡 貞蔵	留任	ツンネ
会沢	万羽 茂作	留任	セイン
清水	片桐 作平	留任	ホンバ
橘山			
蓬平	若井 忠蔵	留任	忠ベイ
東山	山岸 広初		
海老	石澤 辨次郎	村山 為次	池のクボ
犬伏	山本 平吉	留任	田んボ
孟地	柳 文八郎	若月 庚平	孫左エ門
片桐山	山岸 兼太郎	柳 嘉蔵	アダチムラ
滝沢	佐藤 孫一郎	佐藤 常雄	サジム
中子	青木 政一郎		
宇島	菅井 帯八郎	柳 晴二	市
荒瀬	石田 常吉	青木 哲司	トク五郎

「註」未記入の部落は未だ報告のないものであり 三月二十五日までに村当局に通報のない部落は留任と看做され各部落嘱託員に通知してあります

御存じでしょうが！
まつだいの雪の量は？

初雪　昭和二十三年十一月二十七日
降雪量　二丈二尺五寸七分　積雪量　四尺三寸

月別	月間降雪量	同上尺換算
昭二三 十一月	三一 センチ	一尺二分
十二月	二三 センチ	七寸五分
昭二四年 一月	二三三 センチ	七尺六寸九分
二月	二八二 センチ	九尺三寸四分
三月（一日より二十日まで）	一〇二 センチ	三尺九寸六分
合計	六七一 センチ	二二尺五寸七分

註 合計の換算と各月の総計の端数は各月換算の四捨五入による

一日一回 午前十時測定

積雪の量 一三五センチ（四尺三寸）（三月二〇日現在）　松小校長測